

Abstract

イノベーション・エコシステムの拡大と投資規制
——「安全保障」をめぐる価値対立とその変容——

齊藤 孝祐（上智大学准教授）

本稿は、米国の安全保障政策における CFIUS の位置づけを明らかにしながら、イノベーション・エコシステムの変容が投資規制の問題にいかなる影響を与えてきたのかを検討する。先端技術の発展を政府や軍が担う時代から、民間企業や研究機関が広く開発に携わる時代へと移り変わっていくなか、狭義の安全保障とその他の価値との対立軸も大きく変容しつつある。投資規制の対象領域が拡大することで、安全保障は従前より関連性を指摘されてきた経済的利益の問題だけでなく、学術研究への制約や、監視対象の拡大に伴う制度運用上の負荷など、さまざまな価値と天秤にかけられるようになってきている。さらに、米国の民間セクターが中国への依存を深めている状況は、それ自体が規制強化の根拠でありつつ、同時にそうした規制が安全保障を支えるイノベーション基盤を毀損するリスクもはらんでおり、これらのバランスをいかにとるかが大きな政策課題となっている。